

ランチョンセミナー 4

日時 2026年11月27日(金) 12:35 ~ 13:35

会場 ロイヤルホールヨコハマ 2F
「ウィンザー+フォンテンブロー」(第1会場)

〒231-8544 横浜市中区山下町90番地

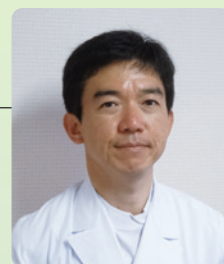
甲状腺眼症のトータルマネジメント ～治療選択から長期疾患管理まで～

甲状腺眼症は、眼球突出や複視、眼球運動障害などにより患者のQOLに深刻な影響を及ぼす疾患であり、病態、活動性、線維化を踏まえた治療選択が求められる。近年、IGF-1受容体を標的とするテプロツムマブの登場により、甲状腺眼症治療は、進行を抑える治療から症状改善を目指す治療へと変化している。本セミナーでは、既存治療との作用機序の違い、テプロツムマブの適応となる症例、海外のステイトメント上の位置づけについて症例を交え解説する。さらに、薬物治療から斜視手術までを見据えた治療選択、再発時の再投与、甲状腺機能や有害事象の管理、内科医と眼科医の連携を含め、発症から長期にわたり患者を支える治療戦略について概説し、実臨床における最適な疾患管理の在り方を共有する。

座長

川崎医科大学 眼科学1教室 教授

三木 淳司 先生



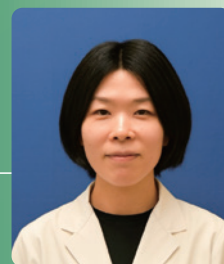
演題 1

12:35 ~ 13:05

演者①

テプロツムマブで広がる
甲状腺眼症治療の可能性

龍井 苑子 先生 北里大学 医療衛生学部
視覚機能療法学専攻 講師



演題 2

13:05 ~ 13:35

演者②

甲状腺眼症の長期治療戦略
—薬物治療から斜視手術までを見据えて—

後関 利明 先生 国際医療福祉大学熱海病院
眼科 部長 / 医学部 教授



- 第64回日本神経眼科学会総会への参加には、右記二次元コードより参加登録が必要です。
 - 10月19日(月)まで、早期割引を実施しております。
 - ランチョンセミナーは整理券制です。整理券はなくなり次第、配布終了となります。
- 配布日時: 11月27日(金) 9:00 ~ 12:00
配布場所: ロイヤルホールヨコハマ 2F ロビー
※整理券はセミナー開始後に無効となります。



テッペーザの効能又は効果は活動性甲状腺眼症です

TPZ260018KK1 (2026年9月作成)